



2019年4月2日

各位

会社名株式会社 中 広
(コード番号2139:東証第一部・名証第一部)
本社所在地岐阜県岐阜市東興町27番地
代表者代表取締役社長後藤一俊
問合せ先取締役副社長兼管理本部長中島永次
電話番号(058)247-2511(代表)
(URL <http://www.chuco.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年10月5日に公表しました2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想を、下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,260	160	160	100	14.71
今回発表予想 (B)	7,133	66	73	266	39.25
増減額 (B-A)	△126	△93	△86	166	
増減率 (%)	△1.7	△58.2	△53.8	166.9	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	7,400	216	217	148	21.89

2. 修正の理由

当期(2019年3月期)の業績予想につきましては、2019年1月25日発表の第3四半期決算短信のとおり、前回発表予想から売上、営業利益および経常利益の下振れ懸念が強まった一方、保有株式売却による特別利益の額などについての見通しが困難であったため、通期の業績予想の修正が出来ない状況でした。

人的リソースの確保が困難な状況や、地方の広告主・広告会社を取り巻く事業環境が厳しさを増す中、上半期と同様に比較的売上規模の大きな支社の主要地域の売上が減少し、売上高が下半期見通しを下回りました。また、第4四半期においては、今期の方針であった直営新規創刊や拠点拡充の抑制を一步進め、収益状況の悪い情報誌及び発行拠点について休刊や拠点の統廃合を行うなど収益回復に努めましたが、休刊による売上減少と拠点経費低下のタイミングのズレや、一時的コストの発生などにより、営業利益及び経常利益は予想を下回る積み上がりとなりました。

この結果、売上高は7,133百万円、営業利益は66百万円、経常利益は73百万円と、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、本日付「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」のとおり減損損失を特別損失として計上する一方、下半期における保有株式の売却による特別利益が積み上がったことから、266百万円と前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上